

日本社会福祉学会

学会

ニュース

3

1992. 11. 20

## 社会福祉の論理の明確化を



日本社会福祉学会代表理事

仲村 優一

私は、このたび日本社会福祉学会代表理事に選任されましたが、就任にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

本学会は、制度としての社会福祉が大きな変革の過程にある今日、社会福祉の論理の明確化を目ざす学問研究を行う研究者の集団として、重大な責任を負っています。

この学会が追究すべき課題は多々ありますが、過日長野大学で開催された第40回大会の分科会構成は、研究課題の範囲の広がりを示すものとして大変示唆に富んでいます。すなわち、制度・政策、歴史、方法・技術、分野別などの伝統的な分科会に加え、地域福祉、国際社会福祉、教育・実習等に関する研究発表が複数の分科会を構成していたことなどは、最近の社会福祉研究の新しい動向を反映しているものといえましょう。

また、日本学術会議に一番ヶ瀬康子教授を会員として送り出している当学会は、同会議が目ざす学術研究の国際化の流れに沿って研究活動を展開することを期待されております。

会員の皆さんがこれらの諸課題と精力的に取り組んでいただけるよう、学会の世話役として微力を尽くしますので、よろしく、ご支援とともに鞭撻してくださることをお願いいたします。

## ますますのご健闘を



日本社会福祉学会前代表理事

一番ヶ瀬 康子

日本社会福祉学会40回大会の総会を期として、新代表理事仲村優一先生に、無事バトンタッチをさせていただきました。この6年間、激動する社会福祉の“改革”のなかで、無事に学会の代表理事としての役目をつとめさせていただきましたのは、ひとえに会員の皆様、理事の先生方さらに事務局の方々、また各年における大会を引き受けてくださいました諸大学の、積極的なご支援とご厚情の賜と、深く感謝を申し上げます。

わが学会も、いよいよ2,000名をこえた学会になってまいりました。はじめは、わずかな発起人の先生方のご努力ではじまったこの学会の、40年間の

歩みを考えると、感無量です。

40回大会では、名誉会員の先生方をお迎えし、そのお元気なお姿に感動し、深い感銘を受けたものも少なくないと思います。また、改めてこれからの学会のことを考える機会が多くありました。たとえば社会福祉研究者にかかわる調査の報告を拝見しましても、かつてとはちがひ、社会福祉学そのものを学んだ方々が半数をこえたことなどや、そのなかで社会福祉学の独自な研究へ積極的な意欲をもやしておられる方が多いことなど、また一方で残念なことながら、原理的なものや歴史研究の領域の研究者の割合が、減少してきていることなどです。

日本学術会議でも、もっともっと人数がふえないと、また学会そのものの国際化に努力をしないと、他の領域の学会に比して、不利な点なども明らかになってきました。

以上のことを考えると、日本社会福祉学会が、ますます発展をし、日本の学界のなかで大きな位置と意味を占めるためには、いっそうの努力が必要と思われる。

新代表理事の仲村優一先生他、新理事の諸先生さらに学会の皆様方のこれからのいっそうのご健闘を切望します。

## 新執行部体制

1992年10月17日～1995年大会時

| 役 職 名       | 部 会   | 理 事 氏 名   | 所 属 先     |
|-------------|-------|-----------|-----------|
| 代 表 理 事     | 関 東   | 仲 村 優 一   | 淑徳大学      |
| 総 務 担 当 理 事 | 関 東   | 大 橋 謙 策   | 日本社会事業大学  |
| 渉 外 〃       | 関 東   | 秋 山 智 久   | 明治学院大学    |
| 機 関 誌 〃     | 関 西   | 太 田 義 弘   | 大阪府立大学    |
| 事 務 局 〃     | 関 東   | 板 山 賢 治   | 全国社会福祉協議会 |
| 北 海 道 部 会 〃 | 北 海 道 | 松 井 二 郎   | 北星学園大学    |
| 東 北 部 会 〃   | 東 北   | 田 代 国 次 郎 | 福島大学      |
| 関 東 部 会 〃   | 関 東   | 窪 田 暁 子   | 東洋大学      |
| 中 部 部 会 〃   | 中 部   | 宮 田 和 明   | 日本福祉大学    |
| 関 西 部 会 〃   | 関 西   | 児 島 美 都 子 | 龍谷大学      |
| 中 四 国 部 会 〃 | 中 四 国 | 中 園 康 夫   | 四国学院大学    |
| 九 州 部 会 〃   | 九 州   | 保 田 井 進   | 福岡県立大学    |
| 理 事         | 北 海 道 | 白 沢 久 一   | 北星学園大学    |
| 〃           | 東 北   | 渡 部 剛 士   | 東北福祉大学    |
| 〃           | 関 東   | 阿 部 志 郎   | 横須賀基督教社会館 |
| 〃           | 関 東   | 三 浦 文 夫   | 日本社会事業大学  |
| 〃           | 中 部   | 大 友 信 勝   | 日本福祉大学    |
| 〃           | 関 西   | 井 岡 勉     | 同志社大学     |
| 〃           | 関 西   | 真 田 是     | 立命館大学     |
| 〃           | 中 四 国 | 岡 本 栄 一   | 聖カタリナ女子大学 |
| 監 事         | 関 東   | 小 松 源 助   | 日本社会事業大学  |
| 〃           | 関 東   | 佐 藤 進     | 立正大学      |

## 日本社会福祉学会長野大会を終えて

日本社会福祉学会第40回大会  
実行委員会委員長 萩原 清子

大会テーマ「21世紀につなぐ社会福祉—福祉改革の課題と展望—」を掲げた40回大会

1992年10月17日（土）～18日（日）の2日間にわたり、日本社会福祉学会第40回大会が長野県上田市にある長野大学で開催されました。開催日前々日まで雨を降らせた台風も去り、学会当日は雲ひとつない秋晴れに恵まれ、おかげさまで、両日の学会参加受け付け人数は会員、非会員を含めておよそ800人を数え、自由研究報告者も250人弱に達しました。また、シンポジウムもほぼ会場いっぱいの350人を上回る参加者が最後まで熱心にお聞き下さり、盛況の内に幕を閉じることができました。

特に、今回の学会では、大会初日の

学会年次総会において磯村英一先生、浦辺史先生、岡村重夫先生のお三方が満場一致で名誉会員に選出・承認され、まさに40回大会記念大会にふさわしい大会となりました。

「シンポジウム」—そのねらいは21世紀への指針を探ること

各分科会における研究報告については「報告要旨集」を参照していただくとして、ここでは「シンポジウム」について簡単に触れておきます。

今回のシンポジウムは、福祉改革の策定が今後の福祉現場、実践にどのような影響をもたらすかを考えながら、21世紀への指針を探ることを目的に設定しました。そのため、シンポジスト選定にあたり実行委員会としては、「福祉改革」を幅広い領域から議論し



ていただくことが必要と考え、福祉プロパーから宮田和明先生（日本福祉大学）、福祉プロパー以外の研究者から澤井勝先生（地方自治総合研究所）、そして、いわゆる市民の代表的立場から羽田澄子先生（記録映画作家）にお願いしました。また、コメンテーターは、従来、若手から選ばれる傾向がありますが、シンポジウムのテーマとその意義に照らすなら、是非とも福祉学会の重鎮に押さえていただくことが大事と考え、日本社会福祉学会代表理事一番ヶ瀬康子先生（日本女子大学）、日本地域福祉学会会長三浦文夫先生（日本社会事業大学）にお願いしました。

### 「シンポジウム」一見方が分かれた福祉改革の現段階

今大会のテーマは、冒頭記したように「21世紀につなぐ社会福祉—福祉改革の課題と展望—」です。そこで宮田先生は、戦後の社会福祉制度改革の歴史を丹念にサーベイした後、今回の制度改革の到達点をどう評価するかというところで現実と理念の乖離を問題に

し、結論として、8法改正によって一応の決着をみたが改革は「これから」としました。一方、澤井先生は市町村に権限委譲された今回の法改正で改革は「終わっている」としました。しかし市町村への負担が高まるので、県の役割と援助のあり方および国の行政責任の発揮のし方が課題であるとししました。羽田先生は、「痴呆性老人の世界」、「安心して老いるために」という映画製作を通じ、困った人を助ける「システム」と「ネットワークの確立」こそ大事としました。三浦先生は、今回の8法改正は、改革そのものとしては「部分的」であり、21世紀に向けては社会保障全体の見直しと再編成が必要としました。また一番ヶ瀬先生は、今回の「改革」は社会福祉制度改革という「狭い改革」であり、21世紀に向けては「制度改革」の限界を明らかにしながら理念の実現をいかに図るかが課題としました。シンポジウムを終わってのわたくしの感想は、「福祉の普遍化」をめぐるの一層の改革の必要性でした。



# 1992年度総会報告

10月17日午後4時から日本社会福祉学会第40回大会会場の長野大学において、1992年度総会が開催されました。

6年間代表理事を務めていただいた一番ヶ瀬康子理事、開催校をお引受けいただいた丸井文男長野大学学長のご挨拶をいただいたあと、開催校が属する中部ブロックの、大友信勝（日本福祉大学）会員、中田照子（愛知県立大学）会員を議長団に、次の議事が審議され、満場一致で承認されました。

最後に次期開催校・上智大学の来年度大会参加呼びかけが行われ閉会しました。

第1号議案 1991年度決算及び監査報告（資料 8、9ページ参照）

第2号議案 1992年度補正予算案

第3号議案 1993年度予算案（資料 10ページ参照）

第4号議案 理事及び監事選挙結果について

第5号議案 新理事及び監事の承認について（資料 3ページ参照）

第6号議案 名誉会員の承認について（資料 7ページ参照）

第7号議案 社会福祉研究者調査研究委員会報告について（別送）

（総会議案書をご希望の会員は、学会事務局にお申し出ください。）

## 名誉会員に称号贈呈

1992年度総会において、理事会より、磯村英一、岡村重夫、浦辺史会員が名誉会員に推挙され、満場一致で承認されました。

名誉会員は、日本社会福祉学会規約第9条「(名誉会員) 本会は、本会発展に多大な貢献のあった会員に名誉会員の称号をおくることができる。名誉会員に関する規則は別に定める。」(1991年10月19日施行)によるもので、本総会で初めて名誉会員が誕生しました。

三会員とも本学会創成にご尽力され、また代表理事の重責を担われて日本社会福祉学会の礎を築かれました。

磯村、浦辺会員は総会と懇親会にご出席になり、力強いお言葉をいただきました。



磯村 英一 会員  
1956年1957年 代表理事



岡村 重夫 会員  
1962年1963年 代表理事



浦辺 史 会員  
1968～1973年 代表理事

### 日本社会福祉学会名誉会員制度規則

第1条 (目的) 日本社会福祉学会規約第9条に基づき、日本社会福祉学会に多大な貢献をした会員に敬意を表するため、名誉会員制度を設ける。名誉会員制度に関する事項は本規定によるものとする。

第2条 (名誉会員に推挙できる要件) 日本社会福祉学会は、原則として75歳以上の会員で、次の各号に該当する会員に名誉会員の称号を贈呈できる。

- 1 代表理事を務めた会員及び理事・監事の職を通算15年以上務めた会員
- 2 その他上記の要件に準ずる活動として、本学会の社会的評価を高める功績及び学会運営の発展に特段の功績をあげた会員

第3条 (名誉会員選考手続き) 名誉会員の称号贈呈は、つぎの手続きを踏まえて行われるものとする。

- 1 日本社会福祉学会理事は、理事会に対して名誉会員に該当する会員を推挙することができる。
- 2 日本社会福祉理事会は、理事から名誉会員の推挙があった場合には、速やかに審議を行い、名誉会員称号を贈呈することが妥当と判断した時には、本人の承諾を得た上で、総会に名誉会員の推挙を行う。
- 3 日本社会福祉学会は、総会において承認された会員に対して名誉会員としての称号を贈呈する。

第4条 (名誉会員の会員適用事項) 日本社会福祉学会の名誉会員には次の各号の事項が適用されるものとする。

- 1 名誉会員の称号を使用することを認める。
- 2 本学会会員としての会費が免除される。
- 3 全国大会への参加費が免除される。
- 4 役員選挙における選挙権、被選挙権は有しない。
- 5 上記以外の事項については、一般会員と同じ扱いとする。

#### 付 則

- 1 この規定は、1991年10月19日より施行する。

# 1991年度日本社会福祉学会会計決算

一般会計

## 1. 収支計算書

自 1991年1月1日  
至 1991年12月31日

収入決算総額 17,078,100 円  
支出決算総額 10,473,394 円

差引額 6,604,706 円(次年度繰越金)

(1) 収入の部 17,078,100 円

(単位:円)

| 科目 |       | 予算額        | 決算額        | 差異        | 摘要    |
|----|-------|------------|------------|-----------|-------|
| 款  | 項     |            |            |           |       |
| 1  | 会費収入  | 9,225,000  | 10,727,500 | 1,502,500 |       |
| 2  | 機関誌売上 | 150,000    | 294,624    | 144,624   |       |
| 3  | 寄付金収入 | 1,000      | 0          | △ 1,000   |       |
| 4  | 補助金収入 | 0          | 0          | 0         |       |
| 5  | 助成金収入 | 0          | 0          | 0         |       |
| 6  | 雑収入   | 20,000     | 77,616     | 57,616    | 預金利息等 |
| 7  | 繰越金収入 | 5,978,360  | 5,978,360  | 0         |       |
| 合計 |       | 15,374,360 | 17,078,100 | 1,703,740 |       |

(2) 支出の部 10,473,394 円

(単位:円)

| 科目 |     | 予算額        | 決算額        | 差異          | 摘要        |           |
|----|-----|------------|------------|-------------|-----------|-----------|
| 款  | 項   |            |            |             |           |           |
| 1  | 事業費 | 5,734,500  | 5,755,780  | 21,280      |           |           |
|    | 1   | 大会費        | 1,000,000  | 1,000,000   | 0         |           |
|    | 2   | 機関誌刊行費     | 3,000,000  | 2,961,188   | △ 38,812  | 「社会福祉学」   |
|    | 3   | 部会還元費      | 1,034,500  | 1,034,500   | △ 0       |           |
|    | 4   | 名簿補正費      | 200,000    | 199,580     | △ 420     |           |
|    | 5   | 特別委員会費     | 300,000    | 294,512     | △ 5,488   |           |
| 2  | 事務費 | 4,680,000  | 4,367,614  | △ 312,386   |           |           |
|    | 1   | 会議費        | 250,000    | 31,050      | △ 218,950 | 理事会・編集委員会 |
|    | 2   | 消耗品費       | 80,000     | 57,108      | △ 22,892  |           |
|    | 3   | 印刷費        | 550,000    | 548,318     | △ 1,682   | 資料・封筒印刷費等 |
|    | 4   | 通信費        | 1,300,000  | 1,316,058   | 16,058    | 通常郵券料金等   |
|    | 5   | 交通費        | 1,500,000  | 1,583,110   | 83,110    | 理事・編集委員旅費 |
| 3  | 繰出金 | 350,000    | 350,000    | 0           | 特別会計繰出金   |           |
|    | 1   | 繰出金        | 350,000    | 350,000     | 0         |           |
| 4  | 予備費 | 4,609,860  | 0          | △ 4,609,860 |           |           |
| 合計 |     | 15,374,360 | 10,473,394 | △ 4,900,966 |           |           |



財産目録

1991年12月31日現在

| 摘 要                         |           | 金 額       |           |
|-----------------------------|-----------|-----------|-----------|
| 内 容                         | 金 額       | 金 額       | 金 額       |
| 〔資産の部〕                      |           | 円         | 円         |
| I 流動資産                      |           |           |           |
| 1. 預貯金                      |           |           |           |
| (1) 普通預金                    |           |           |           |
| 住友銀行東京公務部 (一般会計)            | 6,820,306 |           |           |
| 住友銀行東京公務部 (名簿作成費特別会計)       | 608,910   |           |           |
| 住友銀行東京公務部 (選挙管理費積立金特別会計)    | 135,463   |           |           |
| 住友銀行東京公務部 (大会費補助充当金特別会計)    | 445,725   |           |           |
| 富士銀行虎の門支店 (一般会計)            | 1,074     | 8,011,478 |           |
| (2) 郵便振替貯金                  |           |           |           |
| 東京貯金事務センター (一般会計)           | 710,398   | 710,398   |           |
| (3) 定期預金                    |           |           |           |
| 住友銀行東京公務部 (大会費補助充当金特別会計)    | 219,518   | 219,518   |           |
| 流動資産合計                      |           |           | 8,941,394 |
| II 固定資産                     |           |           |           |
| 1. 備 品 (ワープロ)               |           | 203,940   | 203,940   |
| 2. 繰延資産 (コンピュータ会員管理システムソフト) |           | 515,000   | 515,000   |
| 固定資産合計                      |           |           | 718,940   |
| 資 産 合 計                     |           |           | 9,660,334 |
| 〔負債の部〕                      |           |           |           |
| I 流動負債                      |           |           |           |
| 1. 一般会計未払金                  |           |           |           |
| (1) 全国社会福祉協議会等              | 913,072   | 913,072   |           |
| 2. 前受金 (1992年度会費)           |           | 14,000    | 14,000    |
| 流動負債合計                      |           |           | 927,072   |
| 負 債 合 計                     |           |           | 927,072   |
| 差引正味資産合計                    |           |           | 8,733,262 |

写し

監 査 報 告 書

1. 監査事項

日本社会福祉学会1991年度実施事業並びに一般会計、特別会計決算について

2. 結果報告

監査の結果、事業は適正に実施され、また会計決算については、収支計算書、貸借対照表及び財産目録と諸帳簿、証憑書類を対照精査し、正確に処理されていることを認めます。

1992年3月24日

日本社会福祉学会

監事 佐藤 進 印  
監事 井岡 勉 印

# 1993年度日本社会福祉学会予算

自 1993年 1月 1日  
至 1993年12月31日

## 1. 収入の部

(単位: 円)

| 科 目 |         | 予 算 額      | 前年度予算額     | 比較増△減     | 摘 要             |
|-----|---------|------------|------------|-----------|-----------------|
| 項   | 目       |            |            |           |                 |
| 1   | 会費収入    | 10,455,000 | 10,500,000 | △ 45,000  | 2050名×0.85×6000 |
| 2   | 機関誌売上   | 180,000    | 180,000    | 0         | 機関誌売上代          |
| 3   | 寄付金収入   | 0          | 0          | 0         |                 |
| 4   | 補助金収入   | 400,000    | 390,000    | 10,000    | 文部省科学研究費        |
| 5   | 助成金収入   | 0          | 0          | 0         |                 |
| 6   | 雑収入     | 80,000     | 68,000     | 12,000    | 預金利息等           |
| 7   | 積立金取崩収入 | 100,000    | 700,000    | △ 600,000 | 選挙管理費積立金        |
| 6   | 繰越金収入   | 6,700,000  | 6,604,706  | 95,294    |                 |
| 合 計 |         | 17,915,000 | 18,442,706 | △ 527,706 |                 |

## 2. 支出の部

(単位: 円)

| 科 目 |            | 予 算 額      | 前年度予算額     | 比較増△減       | 摘 要         |
|-----|------------|------------|------------|-------------|-------------|
| 項   | 目          |            |            |             |             |
| 1   | 事業費        | 5,895,500  | 8,749,150  | △ 2,853,650 |             |
|     | 1 大会費      | 1,000,000  | 1,000,000  | 0           |             |
|     | 2 機関誌刊行費   | 3,200,000  | 3,000,000  | 200,000     |             |
|     | 3 部会還元費    | 1,045,500  | 1,069,150  | △ 23,650    |             |
|     | 4 特別委員会費   | 0          | 1,800,000  | △ 1,800,000 | 廃科目         |
|     | 5 学会通信刊行費  | 300,000    | 300,000    | 0           |             |
|     | 6 名簿作成費    | 200,000    | 1,400,000  | △ 1,200,000 |             |
|     | 7 選挙管理費    | 150,000    | 180,000    | △ 30,000    |             |
|     | 8 大会費補助充当費 | 0          | 0          | 0           |             |
| 2   | 事務費        | 5,080,000  | 5,580,000  | △ 500,000   |             |
|     | 1 会議費      | 250,000    | 250,000    | 0           | 理事会・編集委員会   |
|     | 2 消耗品費     | 80,000     | 80,000     | 0           | 事務用品        |
|     | 3 印刷費      | 650,000    | 650,000    | 0           | 総会資料・封筒印刷費等 |
|     | 4 通信費      | 1,000,000  | 1,000,000  | 0           | 通常郵券料金等     |
|     | 5 交通費      | 1,500,000  | 1,500,000  | 0           | 理事・編集委員旅費   |
|     | 6 事務諸費     | 1,600,000  | 2,100,000  | △ 500,000   | 事務局経費、事務費   |
| 3   | 積立金繰出      | 350,000    | 100,000    | 250,000     | 名簿30万選挙 5万  |
| 4   | 予備費        | 6,589,500  | 4,013,556  | 2,575,944   |             |
| 合 計 |            | 17,915,000 | 18,442,706 | △ 527,706   |             |

\*1992年12月末積立金 (予定)

名簿作成費積立金  
選挙管理費積立金

13,140円  
145,962円

大会費補助充当費積立金 661,183円

## 経過報告及び会員数の現況

### 1. 経過報告（前年大会後～現在）

- ・ 1991年10月19日 第39回日本社会福祉学会大会（～20日）（於：鹿児島経済大学）
- ・ 1991年10月19日 1991年度日本社会福祉学会総会（於：鹿児島経済大学）
- ・ 1992年 2月 6日 「社会福祉研究者実態調査」の実施
- ・ 1992年 3月24日 1991年度日本社会福祉学会監事会の開催
- ・ 1992年 3月26日 1992年度日本社会福祉学会第1回編集委員会の開催
- ・ 1992年 3月27日 1992年度日本社会福祉学会第1回理事会の開催
- ・ 1992年 5月 7日 日本社会福祉学会第1回選挙管理委員会の開催
- ・ 1992年 5月 9日 日本社会福祉学会選挙資格と名簿の確認の実施
- ・ 1992年 6月15日 社会福祉学研究者調査特別委員会第2回委員会の開催
- ・ 1992年 7月27日 日本社会福祉学会会員名簿（1992年度版）の発行
- ・ 1992年 7月31日 1992年度日本社会福祉学会第2回理事会を文書審議により行い、78名の入会希望者の入会が承認される。
- ・ 1992年 8月 1日 日本社会福祉学会理事及び監事選挙の実施（～9月1日）
- ・ 1992年 8月25日 社会福祉学研究者調査特別委員会第3回委員会の開催
- ・ 1992年 8月26日 1992年度日本社会福祉学会第2回編集委員会の開催
- ・ 1992年 9月 4日 日本社会福祉学会第2回選挙管理委員会の開催（理事及び監事選挙開票と当選者の決定）
- ・ 1992年10月16日 1992年度日本社会福祉学会第3回理事会の開催
- ・ 1992年10月17日 第40回日本社会福祉学会大会（～18日）（於：長野大学）
- ・ 1992年10月17日 1992年度日本社会福祉学会総会（於：長野大学）

### 2. 会員数の現況

|               | A（1992年10月1日現在） | A（1991年10月1日現在） | 増 減（A－B）  |
|---------------|-----------------|-----------------|-----------|
| 会 員 総 数       | 1 9 4 0 名       | 1 8 0 3 名       | + 1 3 7 名 |
| 北 海 道 部 会     | 8 6 名           | 8 4 名           | + 2 名     |
| 東 北 部 会       | 1 1 4 名         | 1 0 8 名         | + 6 名     |
| 関 東 部 会       | 7 7 0 名         | 6 9 7 名         | + 7 3 名   |
| 中 部 部 会       | 2 1 8 名         | 1 9 6 名         | + 2 2 名   |
| 関 西 部 会       | 4 5 7 名         | 4 4 7 名         | + 1 0 名   |
| 中 ・ 四 国 部 会   | 1 4 6 名         | 1 2 9 名         | + 1 7 名   |
| 九 州 部 会       | 1 4 4 名         | 1 3 3 名         | + 1 1 名   |
| そ の 他（海外居住者等） | 5 名             | 9 名             | - 4 名     |

## 事務局連絡

心配した台風がそれた晴天のなか、第40回大会が開催されました。800名を超える参加者が集まった大盛況のかけには、開催校をお引き受けくださった長野大学の綿密なご準備と、全学挙げての協力体制がありました。長野大学の皆様、ありがとうございました。

★第7号議案「社会福祉研究者調査研究委員会報告」に先立って実施いたしましたアンケート調査には約3割の会員からご回答をいただき、有意義な調査となりました。報告書は後送いたします。

★1992年度会費未納会員の皆様には、会費振り込み票を同封しました。本学会の年度は1月～12月です。会費は折り返し年度中にお振り込みいただけますようお願いいたします。

★4月には毎年、会員の勤務先等の異動が多くみられますが、学会事務局へのご連絡もお忘れなく。とくに、大学院卒業の方から就職先のご連絡がなく、ご連絡先の照会に苦労いたしております。ご協力をお願いいたします。

日本社会福祉大学第41回大会  
1993年9月4～5日  
於 上智大学

## 「学会ニュース」第3号・編集後記

★「学会ニュース」を今期から復刊します。第1号は(1978年)に、第2号は(1988年)に発刊されています。したがって、この号は通算第3号となります。

★これまでも、大会に参加できなかった会員には総会資料を後日送付させていただいておりましたが、これからは、それらも含めて「学会ニュース」を活用して会員の方々に学会動向を年1～2回お伝えしたいと考えています。いろいろなご意見をお寄せください。

★長野大学での第40回大会を盛会裡に終えることができました。長野大学の丸井学長を始め関係者の皆様にこの紙上をお借りして厚く御礼申し上げます。来年度の大会は9月4(土)～5日(日)の日程で上智大学で行われる予定です。上智大学の皆様には何かとお世話になりますがよろしくお願い致します。

★今期から、学会総務担当理事を仰せつかりました。代表理事を補佐して学会の運営に関わらせていただきますが、学会運営に関してご意見がありましたら遠慮なくお寄せいただきたいと思います。

(総務担当理事・大橋 謙策)

## 学会ニュース3号

発行人 仲村 優一

編集人 大橋 謙策

発行日 1992年11月20日

発行 日本社会福祉学会

〒100 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

全国社会福祉協議会・社会福祉研究情報センター内

TEL 03-3581-4657